

## 平成29年度第2回 京都府中丹地域戦略会議開催結果（概要版）

- 1 日 時 平成30年2月28日（水） 10時00分～12時00分
- 2 場 所 京 綾部ホテル 「白梅」
- 3 出席者
  - 【委 員】出席9名（欠席3名）
  - 【オブザーバ】各市企画担当部課長等
  - 【中丹振興局】野村局長、稲村副局長、高屋企画総務部長、常盤健康福祉部長、嵯峨根農林商工部長、小林建設部長、岡島港湾局港湾企画課長 他
- 4 講演 「これから」 講師：京都工芸繊維大学 森迫副学長
  - ・ 京都工芸繊維大学では、地域課題と真剣に向き合う必要を感じている。本年10月の福知山キャンパスのオープンは、「人に役立つ技術・人が幸せになれる技術は何なのか」を追求していくチャンスである
  - ・ 府北部出身者も「地元が好きで残りたい」「帰ってきたい」という子が多い。親も「帰ってきた方が幸せじゃないか」と言えるまちづくりをすることが重要である
  - ・ 明治維新から150年が経過し、府北部の景色も大きく変わった。今後地域の風景をどのように変えていくのか、原点に立ち返って考えていく必要がある
- 5 主な意見等
  - 《安心・安全》
    - ・ 原発の安全対策の確保
    - ・ 自然エネルギーを基盤とする持続可能な21世紀型産業、ライフスタイル
    - ・ 地震への備え
    - ・ 救急車に代わる救急搬送の仕組みづくり
  - 《教育》
    - ・ 独自の奨学金制度の創設
  - 《子育て》
    - ・ 丁寧に子育てができる環境づくり
    - ・ 子供を遊ばせることのできるコミュニティスペースの設置
  - 《産業・観光振興》
    - ・ 企業誘致の促進
    - ・ 地域内での資源の循環
    - ・ 観光消費額の増加。とりわけ、宿泊者の増加対策
  - 《交通》
    - ・ 高速道路料金の引き下げ
    - ・ JR園部駅～綾部駅間の複線化
  - 《合意形成プロセスと統計分析》
    - ・ アンケートなどによる住民意見の反映
    - ・ 地域、世代、性別、国籍などの間に生じる格差への対応と、前提となるミクロ的な視点による統計分析